

# MR5G

## ユーザーマニュアル



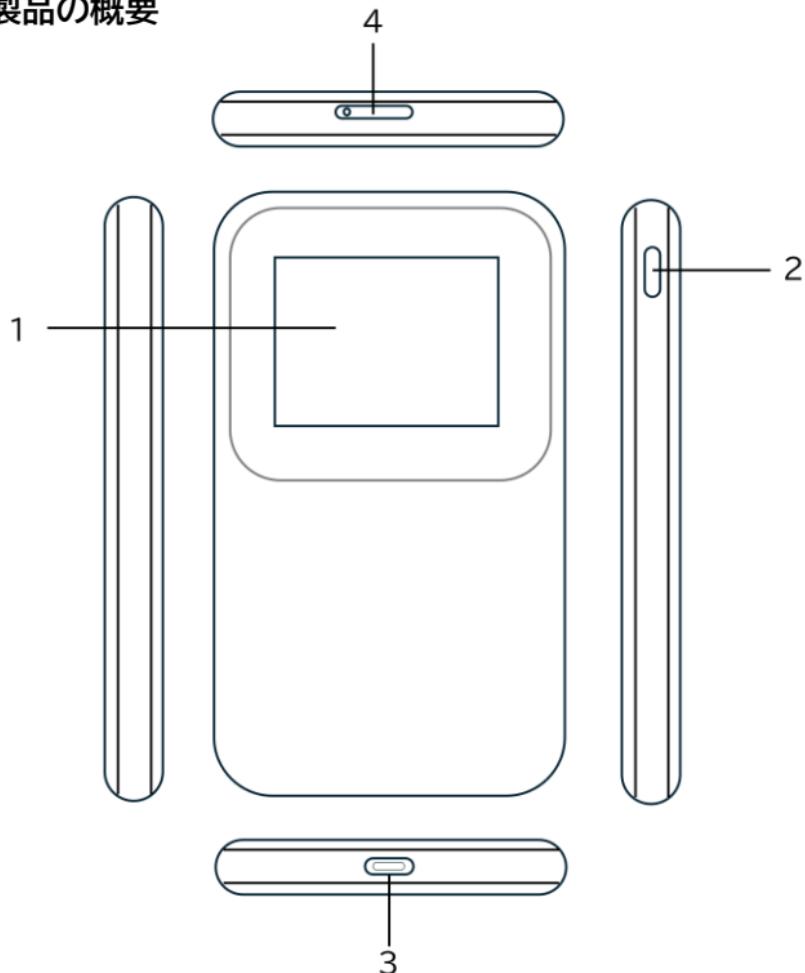
Version 1.3

# 目次

製品の概要 .....	4
本体付属品 .....	5
機能紹介 .....	5
電源 ON / OFF / 再起動 .....	5
充電方法 .....	5
vSIM 接続 .....	5
SIM カードの利用 .....	6
Wi-Fi 接続 .....	6
初期化 .....	6
画面のロックとロック解除 .....	6
本機ディスプレイに表示される各画面の機能について .....	7
Home 画面 .....	7
Wi-Fi 情報 .....	7
SignalScan .....	8
メニュー .....	9
Wi-Fi 設定 .....	9
接続デバイス .....	10
SIM 切り替え .....	10
デバイス情報 .....	12
言語 .....	13
時刻表示形式 .....	14
タイムゾーン .....	14
明るさ .....	14
USB デザリング .....	15
Wi-Fi 接続の仕方 .....	16
iOS .....	16
Android .....	16
Windows .....	16
Mac .....	16
取り扱いの注意 .....	17
共通のお願い .....	17
端末本体についてのお願い .....	18
充電についてのお願い .....	18

SIM カードについてのお願い.....	19
登録内容などについてのお願い .....	19
携帯電話機の比吸収率(SAR)について .....	19
廃棄と回収情報 .....	21
お知らせ .....	21

## 製品の概要



1. ディスプレイ(タッチパネル)
2. 電源ボタン
3. Type-C USB ポート
4. SIM トレイ

## 本体付属品

1. MR5G(モバイルルーター)
2. マニュアル/保証書カード
3. USB ケーブル

## 機能紹介

### 電源 ON / OFF / 再起動

電源 ON:電源ボタンを 3 秒間長押しして起動します。

電源 OFF:電源ボタンを 3 秒間長押ししてメニューを表示します。

メニューから「電源を切る」を選択してください。

再起動:電源ボタンを 3 秒間長押ししてメニューを表示します。

メニューから「再起動」を選択してください。

## 充電方法

- ・ 充電ケーブルが USB 端子に確実に接続されていることをご確認下さい。
- ・ お買い上げ時には十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。
- ・ 充電器を接続したままで長時間のご利用は電池の寿命を縮める可能性がありますので行わないでください。

## vSIM 接続

- ・ 本機は vSIM に対応したモバイルルーターです。
- ・ vSIM を利用するプランをご契約している場合、電源を入れると自動的に vSIM に接続されます。

1. 電源ボタンを長押しして起動してください。
2. 起動後、自動的に vSIM に接続されます。
3. vSIM への接続が完了したら、ディスプレイの左上に「vSIM」の文字が表示されます。

## SIM カードの利用

本機は nano SIM カードのみ対応します。SIM カードを抜き差しする場合は、必ず機器の電源を切った上で実施ください。

1. SIM トレイを引き出す穴に SIM ピンなどの先の尖った金具を挿し込んでください。
2. SIM トレイを引き出して SIM カードをセットします。
3. SIM トレイを元の位置に差し込んでください。

SIM カードの方向やズレ、SIM トレイの方向を間違えないようにご注意ください。

## Wi-Fi 接続

- ・ 本機と Wi-Fi 対応機器(スマートフォンやパソコン等)を接続し、インターネット接続することができます。
- ・ ネットワーク名(SSID)とパスワードを入力頂くか、表示されている QR コードを読み込み、ご利用の機器を接続してください。
- ・ 最大同時に 16 台まで接続可能です。

## 初期化

- ・ 電源ボタンを約 15 秒間押し続けると、端末が初期化されます。
- ・ 初期化を行うと、設定や保存されている情報はすべてリセットされます。

## 画面のロックとロック解除

- ・ 電源ボタンを短く押すか、一定時間経過すると画面表示が消え、画面操作ができなくなります。
- ・ ロックを解除するには電源ボタンを短く押し、画面を表示させた後に左方向にスワイプして、ロックを解除してください。



## 本機ディスプレイに表示される各画面の機能について

### Home 画面

画面のロックを解除すると通常 Home 画面が表示されます。

Home 画面には使用したデータ量あるいは残容量が表示されます(利用するプランによって異なります)。

また、電波強度および電池残量、接続中の端末の数が表示されます。



### Wi-Fi 情報

Home 画面で Wi-Fi 情報をタップすると、本機のネットワーク名(SSID)、パスワード、Wi-Fi 周波数をお知らせする画面が表示されます。



## SignalScan

SignalScan はご利用中の電波状況を確認し、最適な電波を選択する機能です。ご利用中に通信状況等が悪い場合に、本機能により状況が改善する場合があります。vSIM で接続している場合にご利用頂けます。

Home 画面で SignalScan をタップすると、SignalScan 画面に移動します。

「開始」をタップすると SignalScan が始まります。

SignalScan 中は通信ができなくなりますのでご注意ください。

SignalScan を行った場合でも、必ず通信状況が改善する保証はありません。

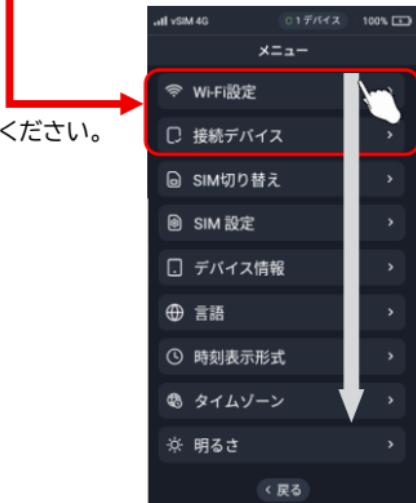


## メニュー

MR5G の様々な機能を設定できます。



画面を上下にスワイプしてください。



### Wi-Fi 設定

Wi-Fi の周波数帯を変更できます。

2.4GHz または 5GHz の周波数帯を選択できます。ただし、5GHz 帯は法律により屋外でのご利用はできませんのでご注意ください。



## 接続デバイス

ブロックは、指定した端末が Wi-Fi に接続できないようにする機能です。

接続中の端末をブロックしたり、ブロックを解除したりできます。

ブロックされた端末は本機の Wi-Fi に接続できなくなりますが、ブロックリストから削除すると再び接続できるようになります。

Wi-Fi の 2.4GHz と 5GHz は SSID が異なるため、ブロックリストは共有されません。



## SIM 切り替え

SIM カードを挿入した状態で「SIM 切り替え」から物理 SIM に切り替えることができます。



## SIM 設定

SIM カードを挿入すると、メニューに「SIM 設定」が表示されます。

この画面では、APN 設定とデータローミング設定を行なうことができます。

APN 設定が必要な SIM をご利用の場合は、「APN 設定」から APN 情報を入力してください。

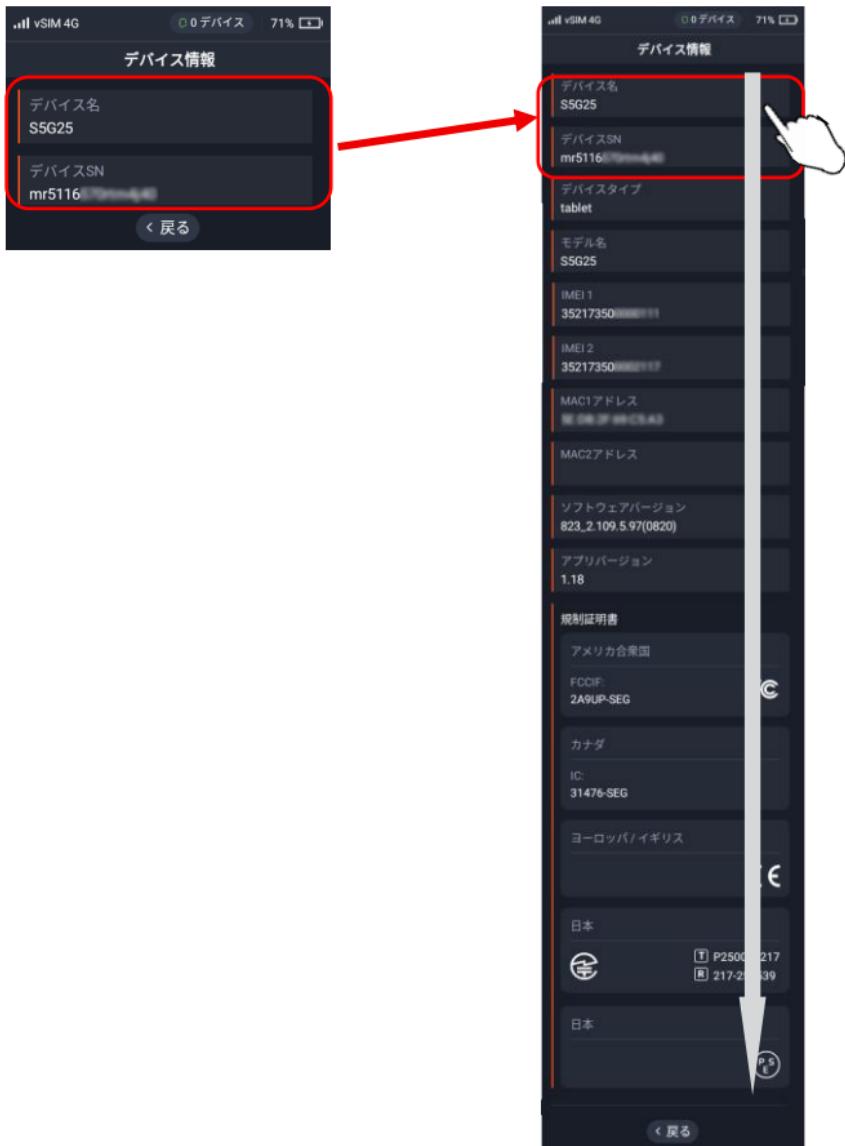
APN 設定を行う前に、画面下部の「初期設定に戻す」を選択し、APN 設定をリセットしてから操作してください。

設定完了後は、端末を再起動してからご利用ください。



## デバイス情報

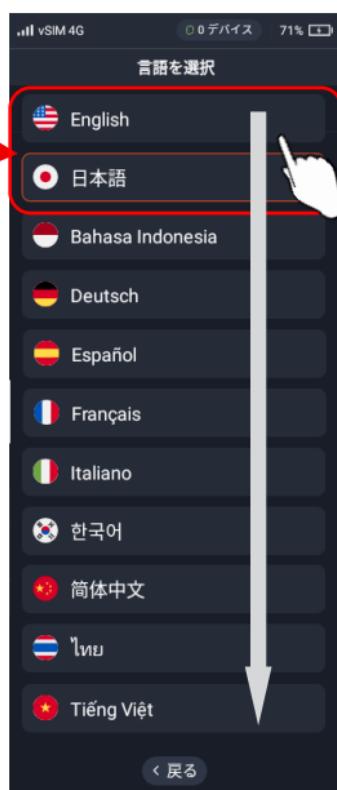
端末の詳細情報を確認できます。



## 言語

ご利用の言語を設定できます。

使用したい言語をタップし、選択してください。



## 時刻表示形式

時刻表示を 24 時間表示と 12 時間表示に切り替えることができます。



## タイムゾーン

表示される時刻のタイムゾーンを変更できます。

「自動検出」を選択すると、現在ご利用中の国のタイムゾーンが自動的に設定されます。手動で設定する場合は、一覧から国を選択してください。



## 明るさ

スライダーを左右にスライドすることで、画面の明るさを調整できます。



## USB デザリング

本機とパソコン等の USB が接続可能な端末を USB ケーブルで接続すると、USB デザリング設定画面が表示されます。

「オンにする」を選択すると、USB デザリングが有効になります。

USB 接続中は、メニュー画面に「USB デザリング」が表示されます。



## Wi-Fi 接続の仕方

※ 機種やバージョンによって設定メニュー や手順が異なります

### iOS

1. 設定
2. Wi-Fi
3. Wi-Fi を ON にする
4. 本機のネットワーク名を探しクリック
5. パスワードを入力する
6. 「接続」をタップする
7. ネットワーク名の横にチェックが入り Wi-Fi アイコンが表示されていれば接続完了

### Android

1. 設定
2. ネットワークとインターネット
3. インターネット
4. Wi-Fi を ON にする
5. 本機のネットワーク名を探し、パスワードを入力する
6. 「接続」をタップする
7. 接続済みとなれば接続完了

### Windows

1. タスクトレイの Wi-Fi アイコンをクリック
2. 本機のネットワーク名を探し「接続」をクリック
3. パスワードを入力し「次へ」をクリック
4. 接続済みとなれば接続完了

### Mac

1. アップルメニュー
2. システム環境設定…をクリック
3. ネットワークをクリック
4. Wi-Fi を ON にする
5. 本機のネットワーク名を探しクリック
6. パスワードを入力し「接続」をクリック
7. 接続済みとなれば接続完了

## 取り扱いの注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。  
必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

### 共通のお願い

- 本製品は IP54 に対応していますが、完全な防水・防塵構造ではありません。水没や強い水流、粉塵が大量に付着する環境での使用はお避けください。風呂場など湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。  
本製品を体の近くで使用する場合、汗による湿気で内部が腐食し、故障の原因となることがあります。  
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり有償修理となることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 無理な力がかかるないように使用してください。  
無理な力がかかると、内部の基板などが破損し故障の原因となります。  
ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。また、USB 端子に充電器等を差した状態で力が加わった場合、故障の原因となります。  
外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。  
乾いた布などで強く擦ると、本体に傷がつく場合があります。  
水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。  
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがあるので、使用しないでください。
- 接続端子はときどき乾いた綿棒などで掃除してください。  
汚れていると接触不良の原因となります。  
また、清掃する際には強い力を加えて端子部を破損しないように十分ご注意ください。
- 急激な温度変化を避けてください  
エアコンの吹き出し口の近くに置いたり、ドライヤーなどの温風を当てると、急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- お子様がご使用になる場合は、本書をよくお読みになり、危険な状態にならないように保護者の方が正しい使い方をご指導ください。  
また使用中においても、指示通りにご利用いただきますようお願ひいたします。

- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

## 端末本体についてのお願い

- 本端末は極端な高温/低温/多湿はお避け下さい。  
温度 5°C～35°C(ただし 36°C～45°Cであれば一時的使用は可能です)  
湿度 35%～85%の範囲(結露しない環境でご使用ください)でご利用ください。
- 落としたり衝撃を与えたまではございません。  
故障、破損の原因となります。  
USB 接続端子に USB ケーブルを接続する際、斜めに差したり、差した状態で引っ張らないでください。故障、破損の原因となります。
- 使用中は、SIM カードを取り外さないでください。
- キャッシュカードやクレジットカード、フロッピーディスクなどの磁気を帯びた記憶媒体を本端末に近づけないでください。  
近づけると磁気データの消失の原因となります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。  
強い磁気を近づけると、誤動作の原因となります。
- 一般電話/テレビ/ラジオなどを使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通信の利用中や充電中など、ご使用状況によっては本体が温かくなることがあります、異常ではありません。
- 使用中、端末本体が高温となった場合、保護のため一部機能を停止することがあります。
- 電池が膨らんだ状態での機器の使用・充電は直ちに中止し、ご購入先へお知らせください。
- 本製品を不正に入手されたことが確認できた場合、予告なく使用を制限する場合があります。  
その場合は購入元にお問い合わせください。

## 充電についてのお願い

- 充電器を接続したままの長時間のご利用は電池の寿命を縮める可能性があります。行わないでください。
- 極端な高温/低温/多湿環境でのご利用はお避け下さい。  
温度 5°C～35°C、湿度 35%～85%の範囲(結露しない環境でご使用ください)でご利用ください。

- 次のような場所では充電しないでください。  
ほこりや振動の多い場所、一般的の電話機やテレビ、ラジオなどの近く。
  - 充電中、アダプタが温かくなることがあります、異常ではありません。
  - 本端末を保管される場合は、電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
    - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
    - ・ 電池残量が0%の状態での保管
- 保管に適した電池残量の目安は40%から 60%程度です。

## SIM カードについてのお願い

- SIM カードの取り付け、取り外しには必要以上に力を入れないでください。
- 金属部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れば、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- SIM カードを落としたり、衝撃を与えたり、曲げたり、重いものをのせたりしないでください。  
故障の原因となります。
- SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。  
故障の原因となります。
- スロットサイズに応じた SIM カードをお使いください。  
サイズが合わない SIM カードを挿入すると故障の原因となります。

## 登録内容などについてのお願い

- SIM カード等にお客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障、交換、その他取扱いによっては変化、消失する場合があります。  
大切なデータは必ずメモを取るか、外部にバックアップをお取りください。万一が一変化、消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 携帯電話機の比吸収率(SAR)について

本製品は、国が定めた電波の人体に対する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計され

ています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は、年齢や健康状態にかかわらず、安心してご利用いただけるよう余裕を持って設定されています。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、本製品に対する SAR の許容値は 2.0W/Kg です。身体に装着した場合の SAR の最大値は 1.3W/kg です(※2)。

個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。

データ通信端末は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるように設計されているため、実際に通信を行っている状態では、通常 SAR はより小さい値になります。この製品の利用時は身体から 0.5cm 以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、この製品が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

※1 技術基準については、電波関連省令(無線設備規則 14 条の 2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

[https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/specific-absorption-rate-\(sar\)-\(w-kg\)](https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/specific-absorption-rate-(sar)-(w-kg))

電波の安全性について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、総務省のホームページをご参照ください。

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

当該端末は連邦通信委員会による規則の第 15 部に準じます。当該端末は下記の二つの条件に準拠し動作します。(1)当該端末が有害な電波干渉を発生させることはないこと。かつ、(2)当該端末は誤作動を発生させる可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要があること。関連業者から明確に承認されていない、いかなる交換や修正を行った場合、ユーザーの端末に関する操作権が失効します。

注意:当該端末は連邦通信委員会による規則の第 15 部に基づく、B 類デジタル端末のテストに合格し、それに準拠するものと認定されています。これらの制

限は、住宅地区で使用した際に有害な電波干渉を合理的に防止するために設計されたものです。この装置は高周波エネルギーを発生、使用、放出するので、取扱説明書に従って設定・使用を行わなければ、無線通信に有害な電波干渉をもたらすおそれがあります。ただし、設定の際に電波干渉が全く起らぬ保証はございません。仮に端末がラジオ/TVへ有害な電波干渉をもたらす場合、(端末の電源のオンオフで判断ができます)下記の方法にて措置を講じてください。

- 再設定あるいは場所を変えて接続を行う。
- 端末と他の通信機器との間隔を空ける。
- 端末を受信機と異なる回線へ接続する。
- 製造元またはラジオ/TVの専門家に相談する。

## 廃棄と回収情報

端末・バッテリー・パッケージ上に上記のマークがある場合(マークのみ・マークの下にソリッドバーがある場合もあります)、端末とイヤホンやアダプタ、ケーブルなどの電子部品やバッテリーは家庭ごみとして廃棄できません。

これらを未分類の地方自治体廃棄物として処理するのではなく、認定を受けたゴミ収集場・リサイクル場への廃棄を行ってください。

端末またはバッテリーのリサイクルに関する詳細な情報は、お住まいの地域の役所や家庭ごみ廃棄サービスセンターまたはリテールセンターへお問い合わせください。

デバイスとバッテリー(内蔵の場合)の廃棄は、WEEE 指令の対象となっているので、改訂版の指令(指令 2012/19/EU)と電池指令(指令 2006/66/EC)に従い、廃棄してください。

WEEE と電池をその他の廃棄物と分離する目的は、有害物質が環境や人々の健康へ及ぼす潜在的なリスクを最小限に抑えることです。

## お知らせ

本商品について株式会社 MAYA BUSINESS SOLUTIONS が法律で定められている全ての権利を保持しています。

本資料は参考目的に発行しているものであり、商品保証とは一切関わりがないことをご了承ください。

本ガイドに記載されている図はあくまでイメージ図です。

アプリのデザインは予告なく変更されること、本体の外観は誤差がありますことをご了承ください。